



かぼちゃっこ

「笑顔きらきら・夢いっぱい・いきいきチャレンジ宮小っ子」



HP アクセス QR コード

「宝」継承と、かかわり・対話の成果

～ 2学期の学校経営を子供たちの姿や言葉で振り返る ～

今年度の経営キーワードとして掲げている「かかわりと対話」と、そして学校運営協議会会員並びに地域学校協働本部代表者の皆様方よりご意見いただいた「宮小・各地区の宝継承」を2つの柱に、2学期の学校経営を進めてきました。一つ目の柱「宮小・各地区の宝継承」については、子供たちへのアンケート調査結果を受けて各学年の学習や学校行事で扱い、宝継承の意義と大切さを理解させるよう努めてきました。

運動会：全校リレー



学芸会：6年生が運動会の歴史を劇で発信



運動会後に「宝継承の意味」を全校児童と話し合ったところ、下記のような意見が出されました。

- ◆楽しむこと（競い合いなどを）
- ◆これまでの伝統や歴史を守り抜くこと
- ◆前年度を超える努力をすること

- ◆残り4年間の1年1年を大切にすること
- ◆いつまでも忘れないこと

とても素晴らしい意見ばかりで、感心しました。それらの大切な思いを宝以外の活動にも反映させ、3学期以降も宝継承を通した「愛好心」や「郷土愛」醸成に力を入れていきたいと思います。

二つ目の柱「かかわりと対話」に関わり最も印象的だった活動は、特別支援学級在籍児童が開いた水族館。国語の学習を活かし、「スイミー」の世界を独自に表現しました。開催期間中、多くの子供たちが訪れ、感想を付箋紙に書いてプレゼントしました。そのほか、「次は、何をするの。」の問いかけに、その児童は大満足。学年の枠を超え、様々な特色を持つ子供たちが自然と打ち分け合い、認め合い、喜び合う。今求められている多様性と共生社会が実現している手応えを感じました。



どんぐり学級2年児童が開いた水族館、大賑わいでした

自分たちの手で交流を深めたい

11月29日（水）に、児童会主催の「宮小ウォークラリー」を実施しました。すべて子供たちの手作りで、縦割り班内の仲間同士の絆を深めることがめあてです。各学年から出題されたクイズや神経衰弱など複数のゲームを楽しみ、点数の最も高かった班が優勝です。限られた時間を惜しむように、どの班も思う存分ゲームを楽しみ、笑顔が溢れました。

サイコロゲームを楽しむ



～ 児童会主催「宮小ウォークラリー」～

言葉作りゲームを楽しむ



優勝班へのインタビュー



校内研修を通して、日々指導力向上に努める

私たち教職員には、日々のたゆまぬ研究と研修が求められます。今年度も通常学級すべての授業研究会を実施し児童理解力や指導力を磨いてきたほか、言葉の教室並びに特別支援学級の実践に学ぶ会も設けました。言葉や学習、生活に困り感を感じている子供たちに寄り添い、どう適切に指導・支援し育てていくか、通常学級にも通じる大切なポイントを確認しました。まずは、我々教職員自らが同僚に学ぶ姿勢を持ち、今後も子供たちの力を伸ばすために努力していきます。

授業研究会での話し合い



言葉の教室・特別支援学級の実践に学ぶ



【お詫びとお願い】

インフルエンザ感染拡大に伴い、12月5日（火）～8日（金）の4日間を臨時休業としました。保護者並びにご家族、地域の皆様方に多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。11日（月）より学校を再開しておりますが、現在、再発防止対策を徹底し子供たちの安心と安全確保、健康保持に努めております。学校医によりますと、現在、学校のみならず家庭内感染と地域内感染拡大傾向にあると聞いております。各ご家庭並びに地域におかれましても、感染防止対策にご留意くださいますようお願いいたします。